

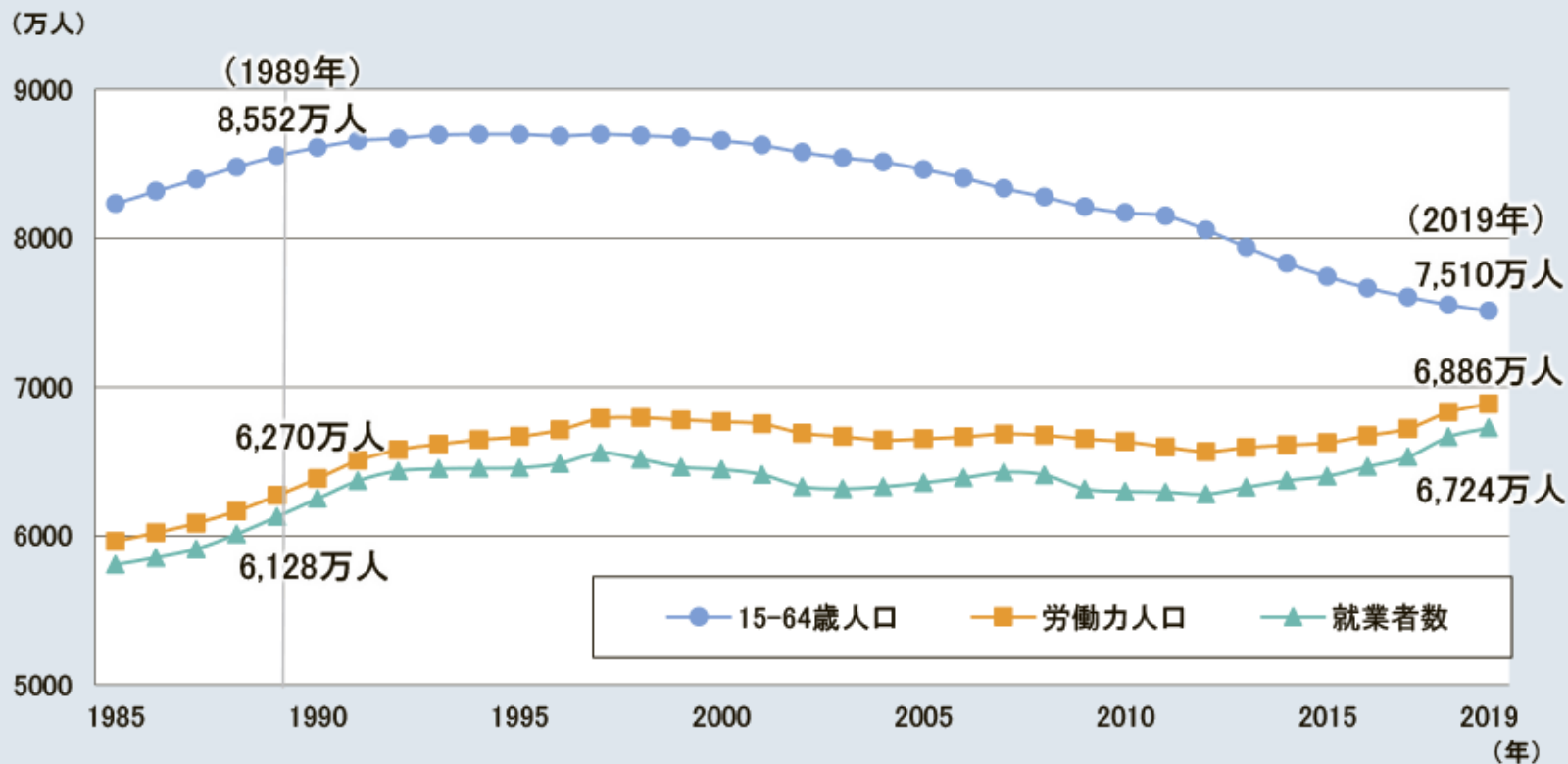


主催団体企画シンポジウム「病気・障がいと仕事の両立支援」
当協会会員施設での実態調査報告

日本リハビリテーション病院・施設協会
障がい児・者支援検討委員会

井手 睦

図表 1-3-3 労働力人口・就業者数の推移



資料：総務省統計局「労働力調査」

(注) 2011年は東日本大震災の影響により全国集計結果が存在しないため、補完推計値を用いた。



病気と仕事の両立支援の定義

「病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら

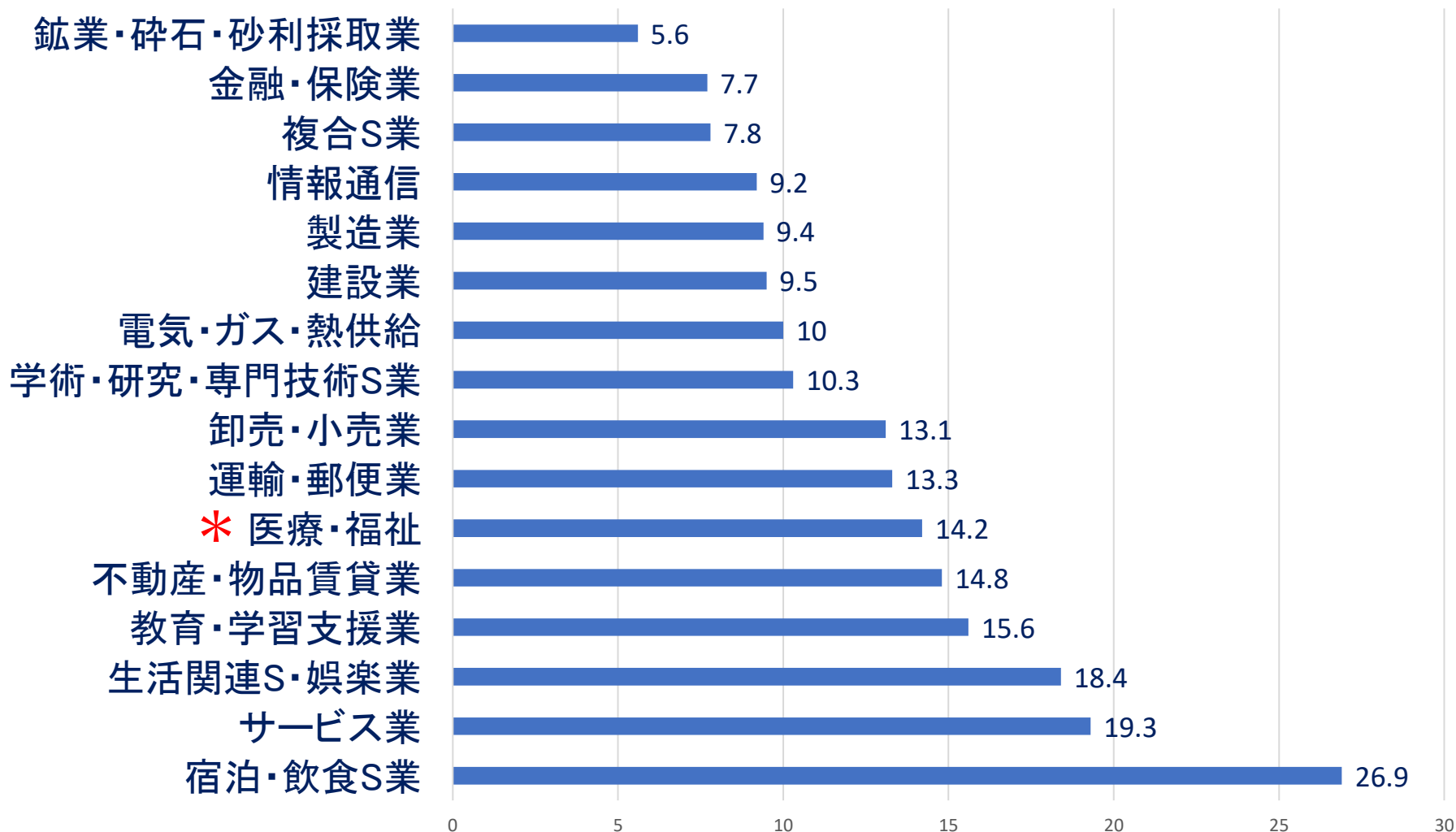
生き生きと働き続けられる社会を目指す取り組み」

(厚生労働省HP: 事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン 平成28年2月)



医療・福祉は離職者が多い業界なのか？

令和2年職業別離職率（厚労省雇用動向調査）





当協会では「リハビリテーション病院・施設における病気・障がいと仕事の両立支援に関する実態調査」を実施

実施期間：2022年6月

対象：協会会員569施設

方法：Googleフォームのメール配信によるアンケート調査

目的：

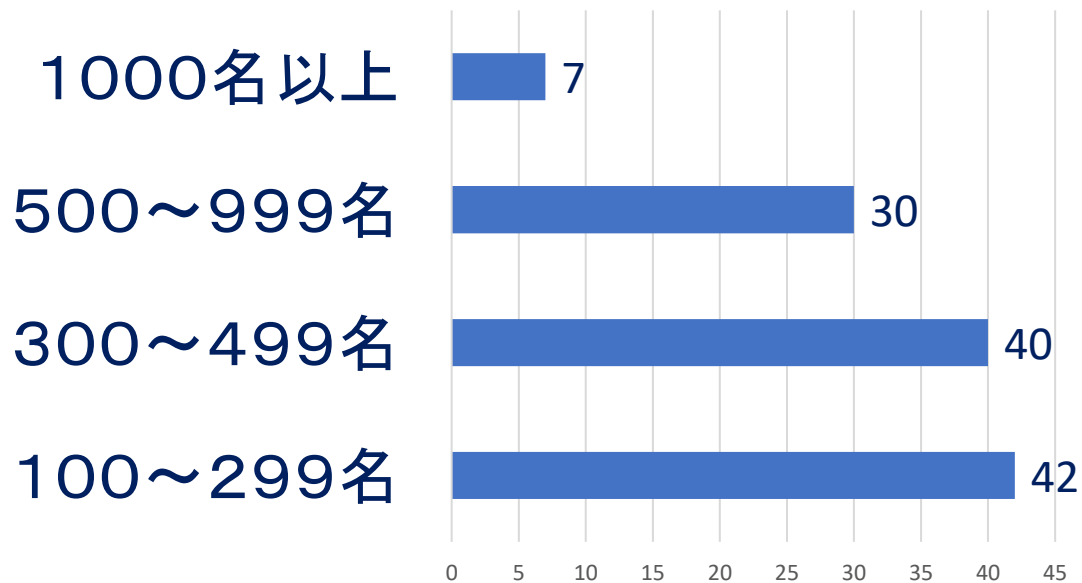
1. 病院・施設も職場ととらえて自施設職員の両立支援に関する対応状況を把握
2. 患者・利用者の両立支援に関する対応状況を把握



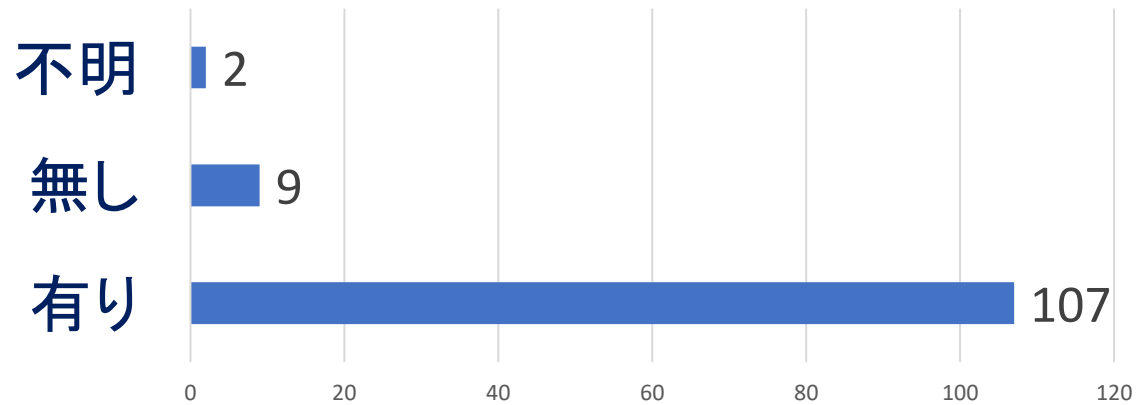
結果

回答施設数: 119 (20.9% 病院 114 施設 4 診療所 1)

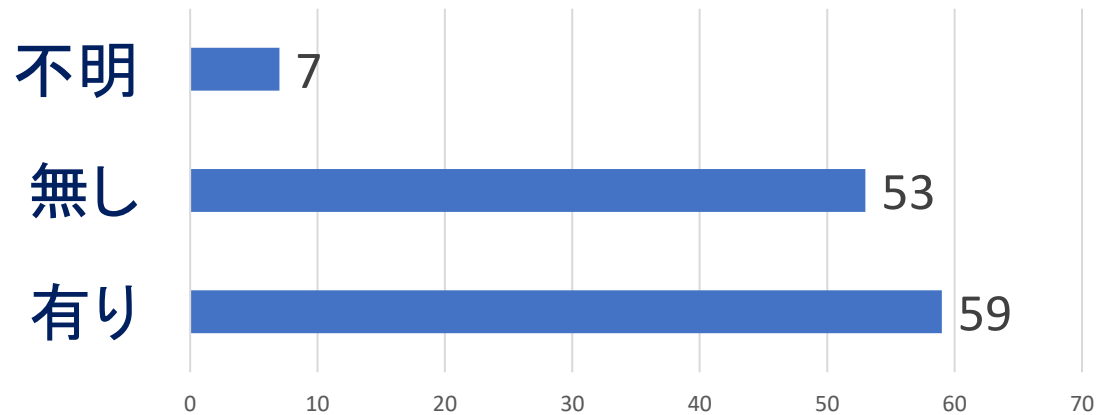
回答者施設職員数



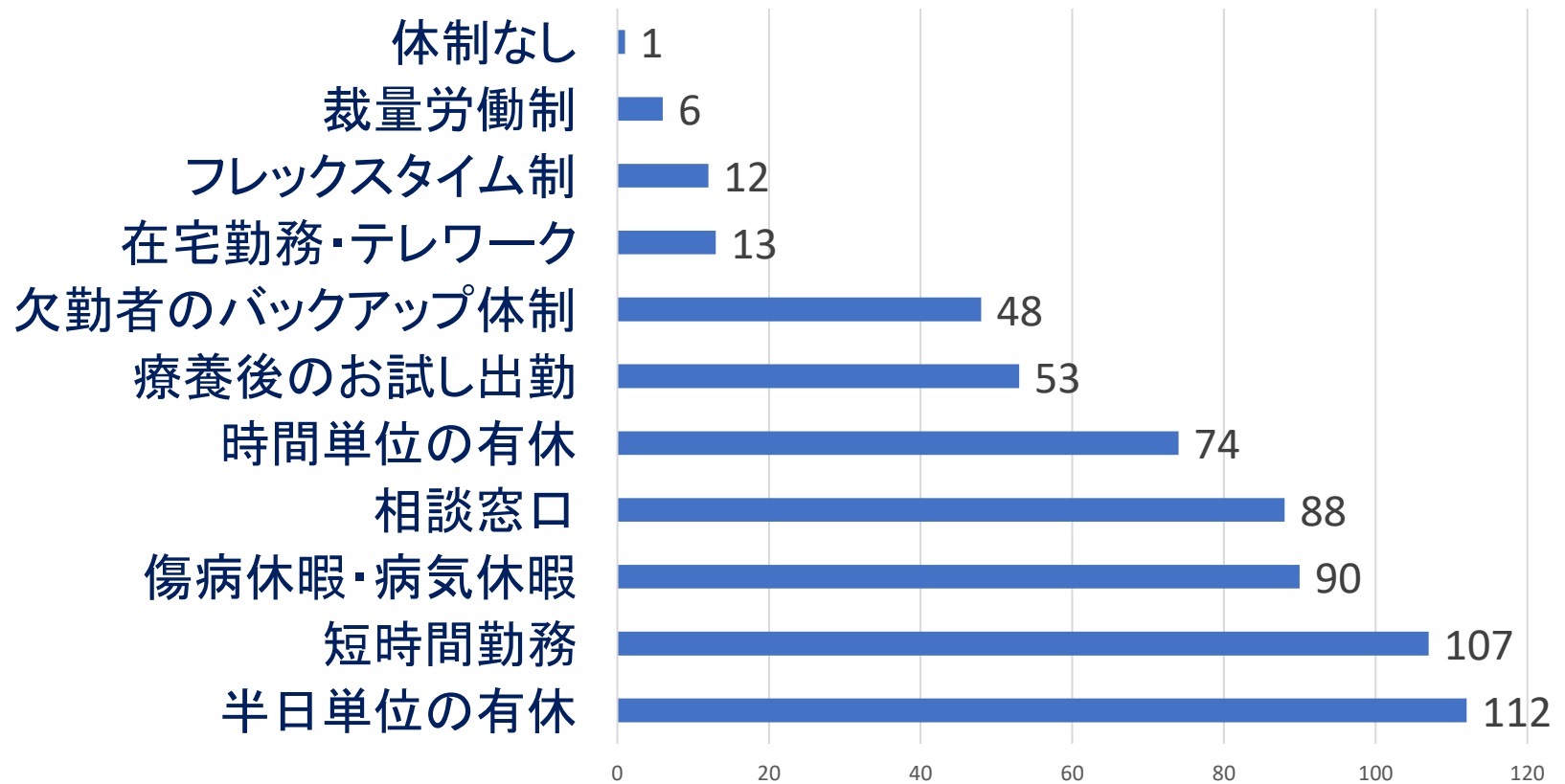
過重労働面談・健康相談



復職プログラム



職場の体制・制度

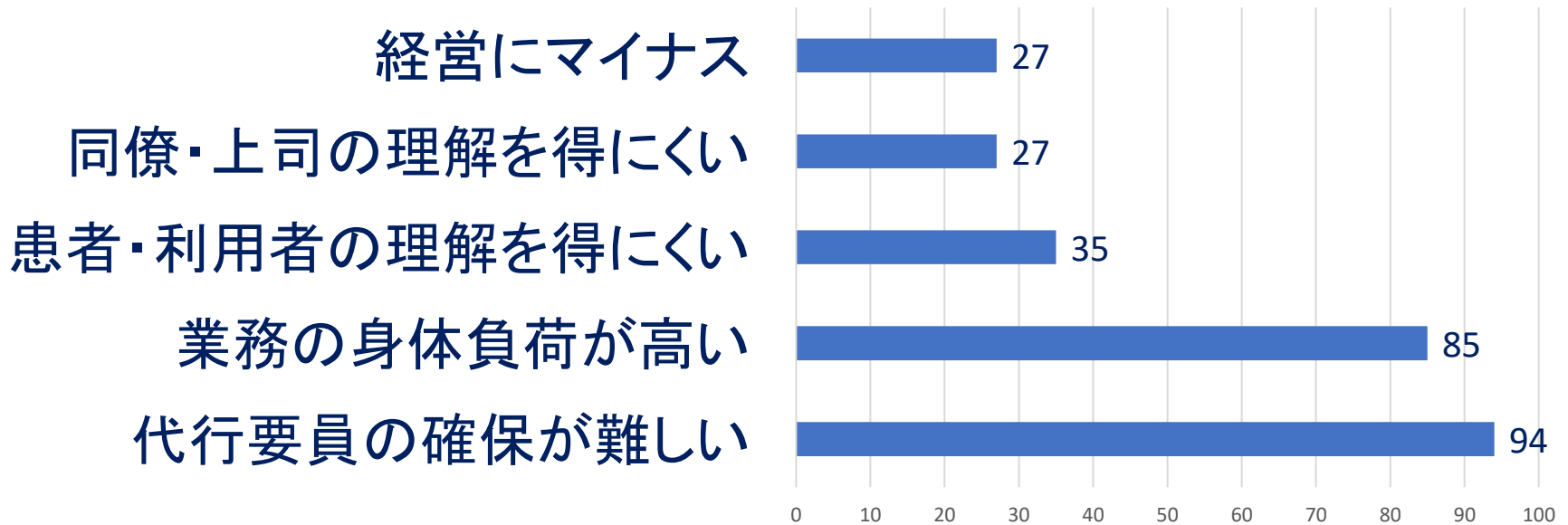




事業所規模が大きいほど制度が整っている？

| 職員数 | 会員数 | 体制・制度数 |
|----------|-----|--------|
| 100-299人 | 42 | 5.40 |
| 300-499人 | 40 | 5.35 |
| 500人以上 | 37 | 5.35 |

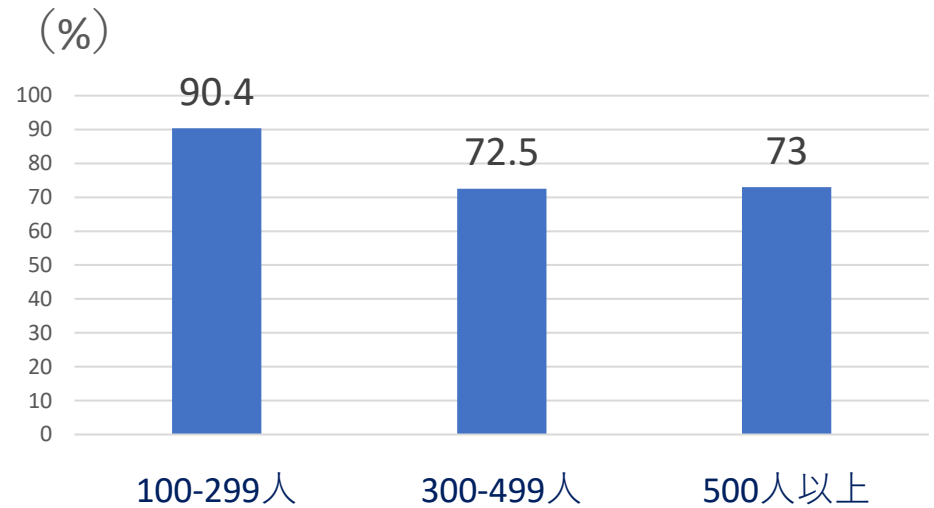
自施設での支障要因



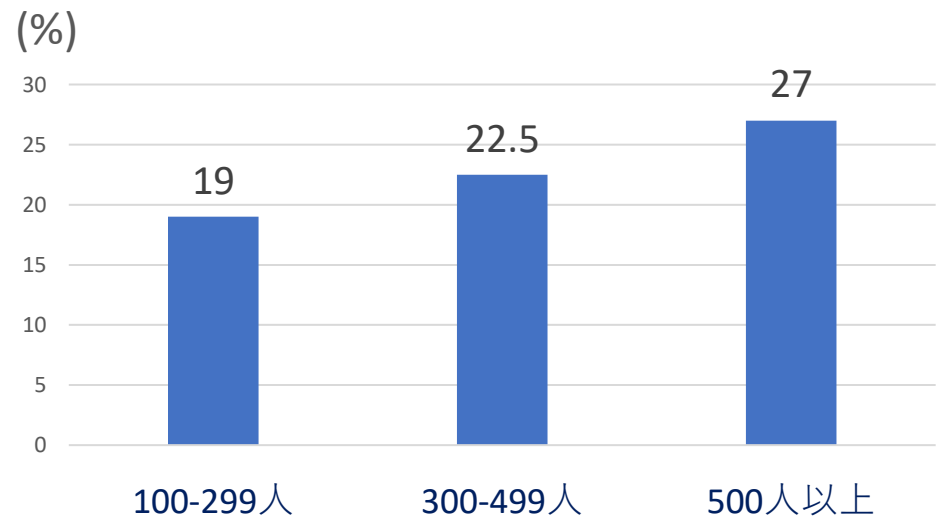


職員数が影響している？

「代行要員が確保できない」

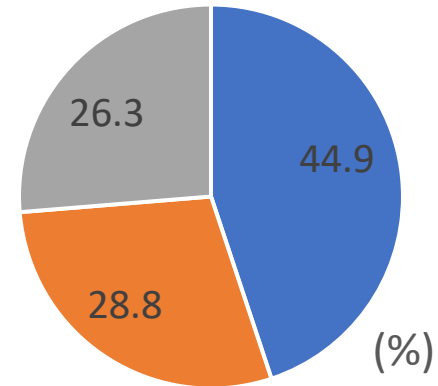


「同僚・上司の理解を得にくい」



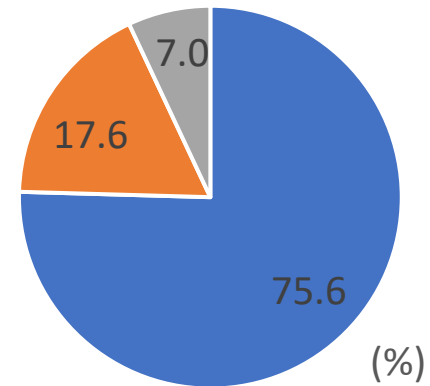
患者・利用者の両立支援に向けて

産業医との日常的な情報交換



■ いいえ ■ わからない ■ はい

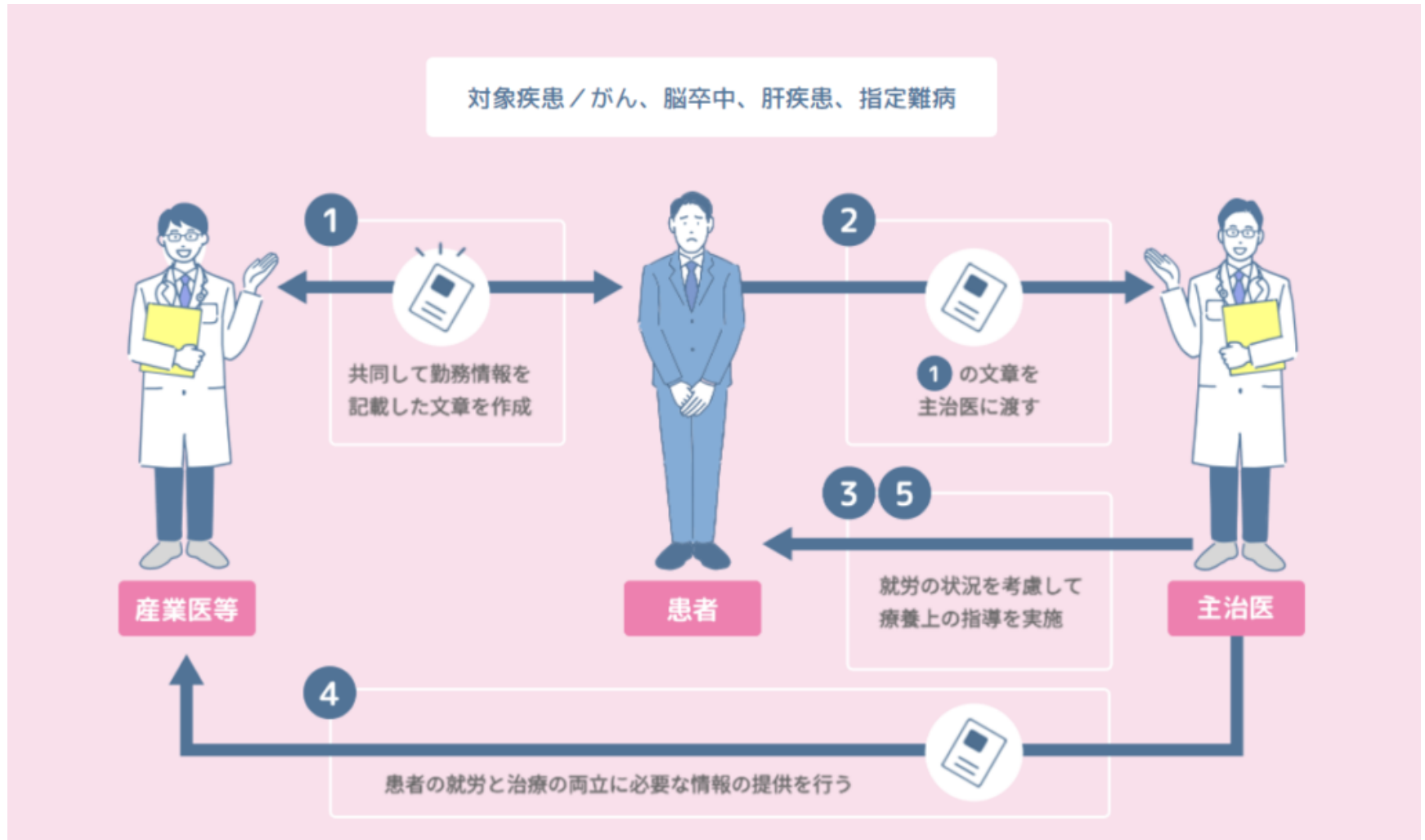
「療養・就労両立支援指導料」の算定



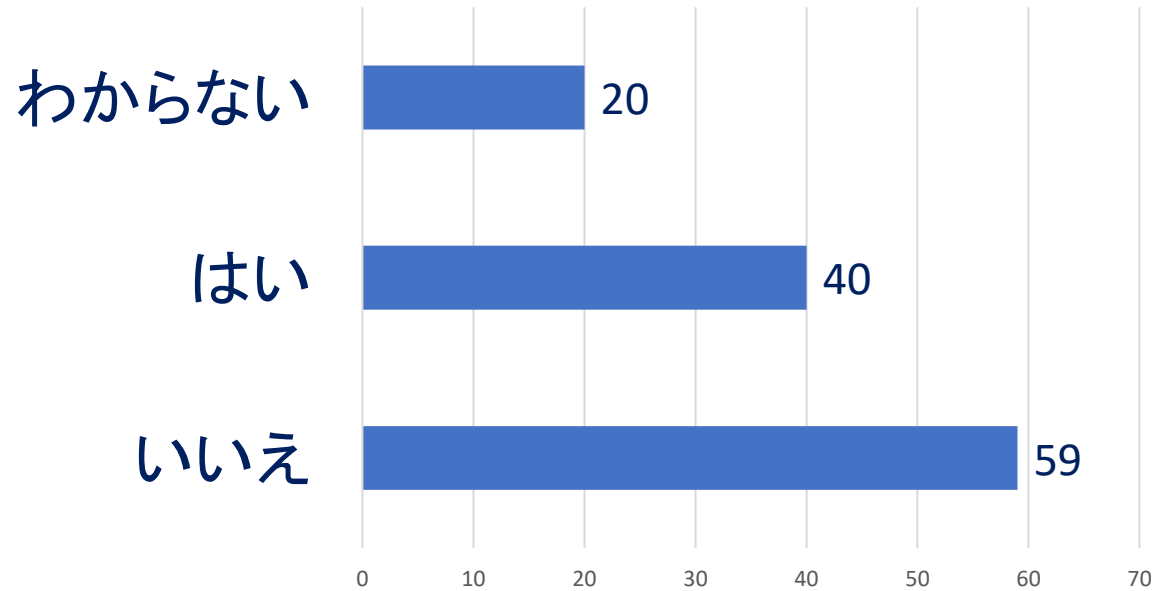
■ いいえ ■ わからない ■ はい

療養・就労両立支援指導料？

- 1 初回 800点 2 2回目以降 400点

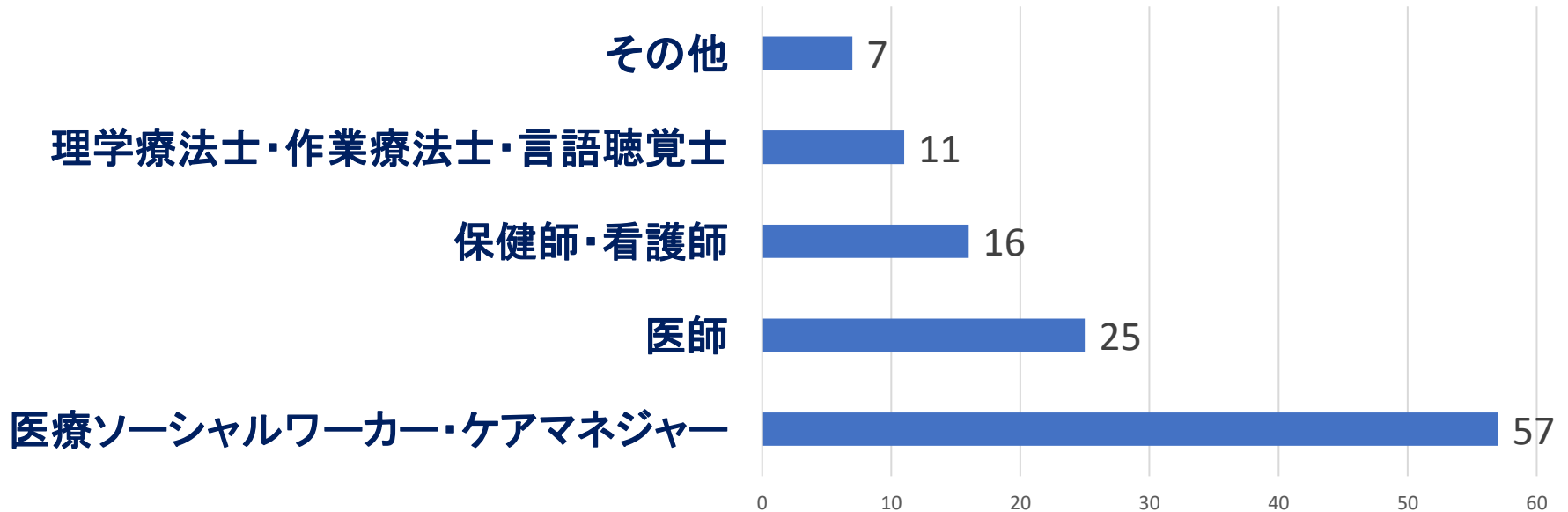


両立支援の窓口の有無

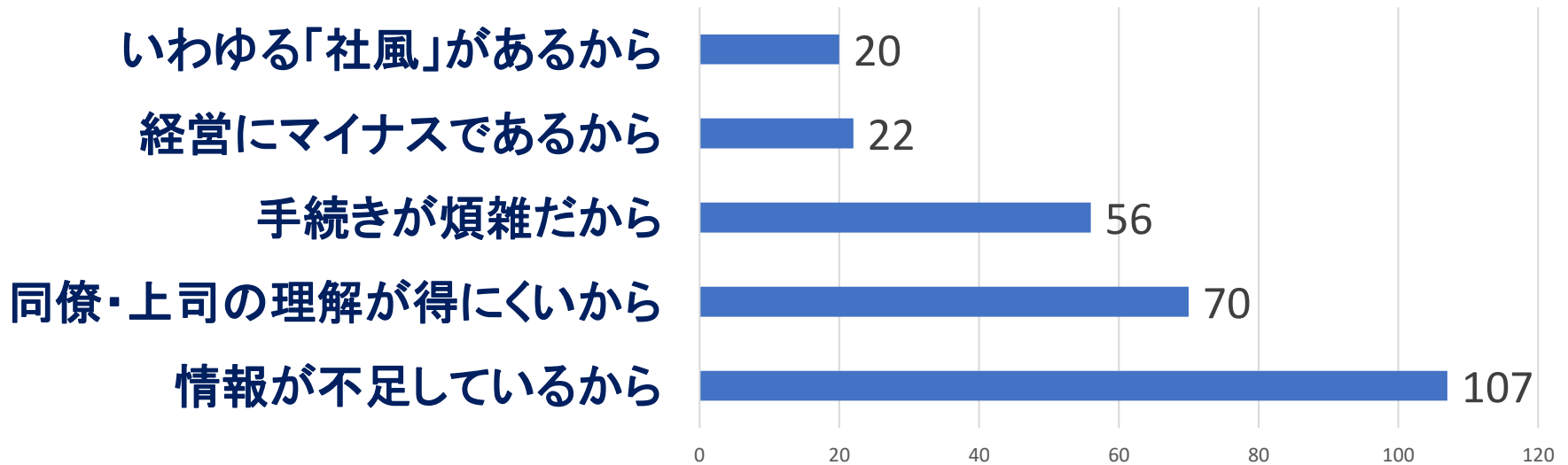




両立支援の主導が望ましい職種



両立支援の支障



自由記載から



TO BE CONTINUED...



医療・福祉業界での両立支援の議論を進めるにあたっては
→ 50人未満の事業所など、より現場の意見を聞いておきたい

患者・利用者の両立支援の議論を進めるにあたっては
→ 受け入れる会社側の考え方を聞いておきたい